

**陸前高田市国土強靱化地域計画(素案)  
パブリックコメントで寄せられたご意見に対する市の考え方**

**令和2年10月**

# パブリックコメントの結果について

## 1 実施日

期日：令和2年9月1日(火)～9月30日(水)

## 2 意見等の件数

20件

## お寄せいただいたご意見等の概要と市の考え方

以下にいただいたご意見の概要と、当市の考え方を掲載いたしました。

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	新型インフルエンザ等対策特別措置法に規定される新感染症や今般の新型コロナウイルス感染症などの感染症を本計画の自然災害想定に含めて、市国土強靱化を図っていくことを検討してはどうか。 また、災害想定は自然災害だけでよいか。NBC災害や弾道ミサイル被害に対する対応検討策定しなくてよいか。	国土強靱化地域計画において、想定される対策は自然災害となり、ご意見をいただきましたその他災害は対象外としております。 一方で、今般の新型コロナウイルス感染症の拡大などを受け、避難所の運営などにおける感染症対策は重要な課題であることから、ご意見を踏まえ、重点化施策に感染症対策について、追記いたします。
2	耐震診断済住宅割合、耐震住宅／耐震補強済住宅割合を増やしていく施策と目標値(KPI)を設定してはどうか。	住宅を含む市内の建築物に関する耐震化の現状及び目標値については、現在作成中の(仮称)陸前高田市耐震改修促進計画の中で設定を検討いたします。

# お寄せいただいたご意見等の概要と市の考え方

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
3	<p>災害情報防災情報の自動発信を推進してはどうか。地震気象情報は防災無線で自動発信されているが、SNSとの連携は取れていないように思う。</p>	<p>災害情報の発信については、災害時の市民の安全を守るため、重要な業務であることから、本計画においても対応方針に記載しているところであります。ご意見いただきました内容につきましては、個別の事業を進める上で、検討してまいります。</p>
4	<p>上水道が被害に備えて、地域の井戸や自家水道、生活用水(トイレ、掃除等用)に使える沢水の位置などを地域の自主防災組織と確認し、情報共有を行ってはどうか。</p>	<p>ライフラインの確保につきましては、災害時の市民の生活環境を確保するにあたり、重要な課題であることから、本計画の対応方針にも記載しているところであります。ご意見いただきました内容につきましては、個別の事業を進める上で、検討してまいります。</p>
5	<p>市街地の無電柱化について、対象となる幹線道路と優先度を決めて進めていくとよいと思うが、実現できるのか。 また、既存電柱電信柱の劣化点検修理、電柱が倒壊したり電線が断線しても速やかに撤去できる機器を消防団屯所に備えたりすることも必要ではないか。</p>	<p>無電柱化に係る具体的な事業内容及び既存設備の管理業務につきまして、本計画への記載はしていないところであります。いただいたご意見につきましては、個別の事業を進める上で、検討してまいります。</p>
6	<p>備品を共同購入し、組織間で共用するなど、自主防災組織の横の連携を推進していくことも大事ではないかと思う。 また、地区防災計画の作成運用支援を進めていくことも大事だと思う。</p>	<p>自主防災組織における具体的な推進方針につきましては、本計画への記載はしていないところであります。いただいたご意見につきましては、個別の事業を進める上で、検討してまいります。</p>

# お寄せいただいたご意見等の概要と市の考え方

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
7	<p>自動車メーカー等との協定など、災害時の電気自動車の活用に係る記載があってもよいのではないか。合わせて、電気自動車の常時の充電設備整備や非常時の充電設備整備の施策を進めていくのもよいかと思う。</p>	<p>電気自動車については、現在、災害時には避難所の非常用電源としての活用が可能であり、災害時のライフラインの確保において、役割が期待されているところであります。本市でも、災害時の電気自動車の活用に係る協定を締結していることから、いただいたご意見を踏まえ、電気自動車の活用について、追記いたします。</p>
8	<p>治山ダム、砂防ダムで古いものは、土砂が堆積して当初の機能を果たさなくなっているものもある。それらの現状を把握して、堆積土砂の搬出や新規建設等の対策していくことも必要ではないか。 また、がけ地近接等危険住宅移転事業等による危険地区内住居の移転推進も必要なのではないか。</p>	<p>治山ダム、砂防ダムの管理については、防災機能の維持のため、重要であると認識しており、管理者である岩手県に対し、必要な要望等を行ってまいります。 危険区域内の住居移転につきましては、個別の事業を推進する上で、県が実施する補助事業の周知を行うなど、市としても移転推進に係る取組を実施しているところであり、引き続き、取組を進めてまいります。</p>
9	<p>市HPに土砂災害情報相互通報システムがあるが、災害情報掲示板(通報情報/通報情報入力)が機能していない。タイトルを含めてこのシステムの見直しが必要ではないか。</p>	<p>災害情報の発信については、災害時の市民の安全を守るため、重要な業務であることから、本計画においても対応方策に記載しているところであります。ご意見いただきました内容につきましては、個別の事業を進める上で、検討してまいります。</p>
10	<p>病害虫に対する対応施策を進める必要ではないか。</p>	<p>土砂災害等の事前災害の発生にあたっては、森林資源の適切な管理は重要であることから、本計画においても対応方策に記載しているところであります。ご意見いただきました内容につきましては、個別の事業を進める上で、検討してまいります。</p>

# お寄せいただいたご意見等の概要と市の考え方

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
11	<p>35の重点施策であれば、最低でも35の 目標指標KPI（重要業績評価指標）を位置付け、進捗管理を行うのが良いのではないかと。</p>	<p>重点施策に対する目標指標の設定につきましては、関連する国の基本計画、県計画の内容なども参考とし、設定しているところであります。いただいたご意見につきましては、今後の見直しなどの際に参考とさせていただきます。</p>
12	<p>重点施策における市街地の浸水対策について、市街地はそもそも計画段階から浸水に対する対策を盛り込んでいるはずであり、今さら市街地の浸水対策を書くということは、市街地の浸水対策設計を間違えましたということになり、市街地の商店主や居住者の不安をあおるのではないかと。既存住宅地に対する農地や住宅地の長期的な浸水対策が重要なのではないかと。</p>	<p>ご意見いただいた記述については、本計画のガイドラインで記載の表現であり、中心市街地という場所を特定しているものではございません。しかしながら、市街地という文言が高田地区及び今泉地区のかさ上げ部をイメージさせることから住宅地等に修正いたします。</p>
13	<p>最近の報道では、景観配慮や伝統的地域に対し、再生可能エネルギー設備の建設をどこまで認めどこまで規制するかが、課題になっているように思う。環境未来都市・SDGs未来都市として、規制区域・保護区域を定めることを含め計画段階から事業者・行政・住民で話し合える枠組みを条例などで定めておくことも必要ではないかと。</p>	<p>再生可能エネルギーは、原子力や化石資源に頼らない電力の供給源として、災害対策の観点からも重要であることから、本計画においても対応方策に記載しているところであります。ご意見いただきました内容につきましては、個別の事業を進める上で、検討してまいります。</p>
14	<p>農業・漁業者に比べて、林業支援の枠組みが少ないように思う。資金的補助貸し付けの枠組みとともに、山林所有者とのマッチングも必要な施策ではないかと。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、直接的に国土強靱化計画に関連する施策ではないことから、計画へ記載はしていないところであります。しかしながら、適切な森林資源の管理にもつながる林業従事者への支援は重要であると考え所であり、個別の事業を進める上で、検討してまいります。</p>

# お寄せいただいたご意見等の概要と市の考え方

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
15	<p>スマート農業の導入支援を進めてみてはどうか。 陸前高田市第2期まち・ひと・しごと総合戦略に記載のあるSociety5.0の考え方にもつながると思う。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、直接的に国土強靱化計画に関連する施策ではないことから、計画へ記載はしていないところであります。しかしながら、安定的な農業基盤の整備にあたり、個別の事業を進める上で、検討してまいります。</p>
16	<p>市SNSの発信情報として、思民が求めているものの発信が少ないように思う。季節の話題やイベント情報も発信していったよいのではないかと。</p>	<p>いただいたご意見につきましては、直接的に国土強靱化計画に関連する施策ではないことから、計画へ記載はしていないところであります。</p>
17	<p>防災ボランティアの活動支援は必要だが、人口減少・少子高齢化対策分野で、防災ボランティアの活動支援がどう結びつくのなかなか理解に難しい。</p>	<p>人口減少・高齢が進む現代において、被災地域の住民だけでは、復旧・復興活動に人員が不足することが想定されるところであります。このような状況下において、ボランティアの方々による支援は非常に重要であり、その活動への支援が必要となることから、記載しているところであります。</p>
18	<p>広田半島の孤立を想定しなくてよいか。また、ドクターヘリ等、ヘリコプターでの広田半島での離着陸を想定した臨時ヘリポート整備の必要性はないか。</p>	<p>広田半島の孤立については、防潮堤や道路のかさ上げにより、半島全体の孤立は解消されたものと認識しております。 広田半島での臨時ヘリポートの整備については、広田小学校校庭を予め指定しているところであります。野外活動センターの臨時ヘリポートの整備については、センター完成後、関係機関と協議してまいりたいと考えております。</p>

# お寄せいただいたご意見等の概要と市の考え方

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
19	当市は整備基準以下であり必須ではないが、はしご消防車の導入もあってもよいのではないかと。	個別具体的な車両等の整備内容につきましては、本計画への記載はしていないところであります。いただいたご意見につきましては、個別の事業を進める上で、検討してまいります。
20	本計画の内容を検討するうえで各項目と総合計画や地域防災計画の項目との対比表があると良い。	本計画につきましては、市の総合計画並びに地域防災計画との整合を図り、策定を進めているところであります。策定段階における公表の方法につきましては、今後の参考とさせていただきます。